

イネ科 ヨシ属

# ヨシ (葦)

*Phragmites communis* Trin.

## 自生環境

河川敷、湿地 など

## 原産地

日本在来

## 生育を脅かす要因

{今のところ特になし}

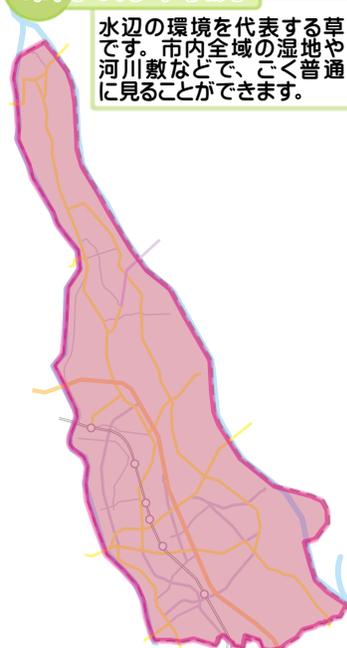
いたるところにごく普通で、今のところ絶滅の心配はありません。ただ、水辺は埋め立てなどの影響を受けやすいので、気づいたら激減していた、とならないようにしたいものです。

## 特徴

- ☆ 河川敷や池・沼のまわりなど、水辺にごく普通に生えています。群生することが多く、ヨシ原と呼ばれる環境をつくりだしています。ヨシ原はいろいろな生きものたちの生活の場として、重要な役割を担っています。
- ☆ 地下茎をどんどん伸ばして、旺盛に繁殖していきます。洪水や天地返しなどで土がかき混ぜられても、ちぎれた地下茎からすぐに再生できる能力を持っています。
- ☆ 夏の終わりごろから穂を出しはじめます。この穂は晩秋に成熟し、綿毛つきのタネをたくさん飛ばします。冬になると地上の茎は枯れますが、これを利用して作ったすだれを葦簀 (よしす) と言います。

## 市内の分布状況

水辺の環境を代表する草です。市内全域の湿地や河川敷などで、ごく普通に見ることができます。



## 悪しから良しに

「スルメ」を「アタリメ」と言うように、縁起の悪い言葉を連想させるものを、縁起の良いものに呼びかえることがあります。じつはヨシもこの手の呼びかえが定着したものです。ヨシはもともとアシと呼ばれていました。その語源には「青し」「桿 (ハシ)」など、いくつかの説があります。いずれにせよ音が「悪し」を連想させるため、それを嫌って対義語のヨシ (良し) があてられました。



花期の穂。花が地味なのでなかなか気づきにくい



タネは綿毛があり、風でふわふわ舞う



葉の縁でうっかり手を切らないよう気をつけよう



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

